

とびとび

No. 94



題 字: 村井龍全さん(水墨画家)

イラスト: Lena Oraさん(本会代表)

昭和 48 年 1 月 13 日第三種郵便物承認

HSK 通巻番号 636 号 (毎月10日発行)

発行 2025 年 (令和 7 年) 3 月 10 日

編集人 札幌市中央区南8条西2丁目5-74-402

NPO 法人「飛んでけ!車いす」の会

照井 レナ 発行番号第 94 号

電話 011-215-8824 (FAX 共用)

発行人 北海道障害者団体定期刊行物協会 (HSK)

定 価 100 円 (会員は会費に含む)

目 次

- P2 Special Thanks! (寄付御礼)
- P3 届けた車いす国別一覧
- P4 「くるくる車いす」で ごみの減量500Kg
- P5 スタートしています「お助け!車いす」
- P6 車いす 届けました! 届きました!
- P7 飛んで行った車いすのその後
~カンボジア チュアン・チュピーさん
- P8-10 車いすの輸送費が変わりました
~車いすを海外に届けるまで~
- P11 TOPIX (整備班の松澤文夫さんに金メダル!)
- P12 掲示板 (イベント・お知らせ)

車いすを運んでいただきありがとうございます

旅行者：7名

車いすのご提供ありがとうございます

寄付者：21名

ご寄付ありがとうございます

- 寄付金

寄付者：21名

- リングプル、アルミ缶ほか

寄付者：11名

- 切手・書き損じ葉書

寄付者：2名

- その他

寄付者：2名

(順不同、2024年10月16日～2025年2月15日)

Wheelchairs delivered to 84 countries

◆アフリカ・欧州地区		◆アジア・太平洋地区		⑳ シリア	4
① ベラルーシ	11	① アフガニスタン	20	⑳ フィジー	9
② ベナン	17	② バングラデシュ	46	㉑ ミクロネシア	12
③ ブルキナファソ	24	③ ブータン	1	㉒ バヌアツ	6
④ エジプト	2	④ カンボジア	246	㉓ 東ティモール	3
⑤ ガーナ	17	⑤ 中国	67	㉔ ソロモン諸島	10
⑥ ケニア	27	⑥ インド	25	㉕ サモア	4
⑦ レバノン	1	⑦ インドネシア	131	㉖ 台湾	10
⑧ マラウイ	24	⑧ イラク	5	㉗ パラオ	5
⑨ モーリタニア	2	⑨ ヨルダン	6	㉘ トルクメニスタン	1
⑩ モロッコ	11	⑩ 韓国	40	◆南米・中米・北米地区	
⑪ モザンビーク	1	⑪ キルギス	11	① アルゼンチン	16
⑫ ナミビア	1	⑫ ラオス	32	② ボリビア	4
⑬ ルーマニア	8	⑬ マレーシア	116	③ ブラジル	16
⑭ セネガル	1	⑭ モンゴル	33	④ キューバ	24
⑮ 南アフリカ	6	⑮ ミャンマー	53	⑤ ドミニカ	5
⑯ タンザニア	16	⑯ ネパール	144	⑥ エルサルバドル	57
⑰ チュニジア	6	⑰ パキスタン	50	⑦ ホンジュラス	12
⑱ ウガンダ	3	⑱ パプアニューギニア	31	⑧ ジャマイカ	9
㉒ ザンビア	25	⑲ フィリピン	250	⑨ ニカラグア	31
㉓ ジンバブエ	3	㉒ ロシア	10	⑩ ペルー	14
㉔ ナイジェリア	21	㉓ サイパン	2	⑪ セントルシア	1
㉕ エチオピア	5	㉔ シンガポール	25	⑫ ウルグアイ	14
㉖ ルワンダ	4	㉕ スリランカ	80	⑬ パラグアイ	8
㉗ カメルーン	5	㉖ タジキスタン	3	⑭ コスタリカ	8
㉘ ガボン	6	㉗ タイ	471	⑮ チリ	4
㉙ マダガスカル	10	㉘ トルコ	3	⑯ カナダ	2
㉚ ウクライナ	100	㉙ ウズベキスタン	46	⑰ メキシコ	2
◆日本(国内リサイクル)	198	㉚ ベトナム	635	⑱ エクアドル	32

2025年2月15日現在
 (網掛け部分は2024年10月16日以降の増加分)
 ※2020年8月から集計頻度が変更になりました。
 これに伴いホームページの台数情報と若干異なる
 場合がございます。

「くるくる車いす」で ごみの減量



札幌市と協定を結び、ともに1年ほど取り組んできた「車いすのリユース活動の促進に向けた試行事業」。

札幌市のホームページから、10か月で30台の車いすを寄贈していただきました。年間の寄贈数は、およそ100台になりますので、その3分の1に相当します。

また、札幌市の大型ごみには年間500台もの車いすが出されておりましたから、ごみの減量も重点課題で、およそ500Kgの減量に成功いたしました。嬉しい成果です。

世界には、7,000万人もの車いすを必要とする人がおりますが（WHO調べ）、必要な方に車いすが届けられる仕組みのある国はそうそうあり

ません。日本は、中負担・中福祉の国ですが、その仕組みが整っており、かつ「もったいない！」精神があります。読者の皆さんも古い車いすを処分する前に、このリユース活動をぜひ思い出してください！



車いすを寄贈していただける方は
こちらのQRコードからアクセス
してお申込みいただけます！



☆本会ホームページのくるくる車いすフォーム

スタートしています

「お助け！車いす」

本会から商工会や町内会、訪問看護事業所などの団体に対して災害用車いすを寄贈しています。

地震や水害など大規模な災害時、迅速な避難、安否確認や適切な初動対応を行うためには、日頃から地域住民が互いに連携を取れる環境づくりをしておくことが大切といわれています。

そのツールのひとつとして、車いすを準備しておきませんか？本会のホームページのフォーム（QRコード）からお申し込みください。

車いすのメンテナンスも、本会の車いす整備の匠がお引き受けいたします。



車いすは、様々な場面で必ず必要になる可能性があります。中古品、古いタイプのものでも、ぜひこの「お助け！車いす」を思い出して、本会にお問合せいただけることを、心よりお願い申し上げます！

災害用の車いすが欲しい団体

お助け！車いす申込フォーム

災害用等の車いすをご希望の方はこちらのQRコードからもアクセスできます！



こちら

お助け！車いす （災害時用車いす寄贈）

のお申込みフォームも
本会のホームページに用意しています。



飛んでけ車いすのホームページ

<https://tondeke.org>

車いす 届けました！ 届きました！



1月初めに、JICA のボランティアをしている渡邊さんの手によってモンゴルに住むイルムーン君（11 歳）に車いすが届けられました。

このモンゴルの件は、イルムーン君の親御さんが日本の車いす（バギー）のことを知り、日本の車いすが欲しいということをもモンゴルで JICA ボランティアをしている渡邊さんに伝えたのが始まりでした。そこから渡邊さんが当会を見つけて連絡をくださり、年末年始に渡邊さんが一時帰国するのに合わせて車いすを受け取ることになりました。

今回はバギーだったため普通の車いすよりも高さがあり、畳んでも運送会社（空港までの輸送で利用しました）の基準を超えてしまうというプチハプニングもありました。年末年始で運送会社の荷物受け入れ期限が早まっている中で少しあたふたしましたが、整備の匠が車いすのシートを取り外してビシッと梱包してくれたおかげで、基準サイズも無事クリアし、渡邊さんの出発する空港まで送り届けることができました。

車いすが届いた後、渡邊さんが連絡をくださり、車いすが快適なようでイルムーン君がとても喜んでいただけました。イルムーン君は筋緊張が強く、モンゴルのバギーでは体が反ってしまうのですが、日本のバギーはベルトや座面が良く、落ち着いて座ることができるとのこと。今はこのバギーを使って幼稚園へ通園しているようです。

渡邊さんには何度もイルムーン君のお母さまとやり取りしていただき、また輸送費なども少し高くなってしまいましたがご理解をいただき、ありがとうございました。

（コーディネーター 武田信悟）

飛んで行った車いすのその後

カンボジア チュアン・チュピーさん

先日、カンボジアで「飛んでけ」の現地コーディネートをして下さっている馬場守さんが、2022 年に車いすをお届けしたチュアン・チュピーさん（当時 14 歳）の現在の様子を教えてくださいました。

チュアン・チュピーさんには 2022 年、旅行者の方ではなく、萌運輸さんの船便で車いすをお届けしてもらいました。当時はまだまだコロナ禍にあって海外へ渡航される方も少なく、当会から海外へと「飛んで」行く車いすも少ない時期でした。その中で、萌運輸さんには定期的に、カンボジアへ向かう船のコンテナに車いすを積んで運んで行ってもらっていました。

馬場さんにもそのときにカンボジアで採寸をお願いしたり、車いすの引き渡しをやってもらったりしていました。馬場さんはそれ以降も「飛んでけ」の現地コーディネートをして下さっています。

車いすをお届けしたのは、チュピーさんが 14 歳のころです。チュピーさんはもともと早産が原因で生まれつき歩くことができず、ものにつかまって足を引きずりながら、なんとか動き回ることができるという状況でした。14 歳でしたが、家の柱などにつかまって移動することしかできないので、学校に行けず家の中で過ごしていました。

車いすを届けた当時は、チュピーさんは恥ずかしがって「ありがとう」と言っただけでしたが、満足そうに車いすを動かしていたと言います。



コーディネーター武田からご挨拶

「飛んでけ」でコーディネーターのボランティアをしている武田です。この度東京での就職が決まり、コーディネーターを 3 月で終えることとなりました。「飛んでけ」には大学 1 年のころからお世話になり、もう 5 年が経とうとしていることに驚いています。ベトナム、ネパール、インド…など、様々な国に行く旅行者の方と協力して車いすを届ける活動をしていく中で、自分がやっていることが少しでも途上国の障害を持つ方たちの役に立っているという実感を得ることができ、とても充実した、貴重な経験になりました。今後も「飛んでけ」には関わらせていただきたいと思いますので、引き続きよろしく願いいたします。



お母さんも、自分が家を留守にしてもチュピーさんが自由に動き回れるということで喜んでいらしたそうです。チュピーさんは手を使って移動することはできていたので、自走式の車いすを持ったことで、自分で外を動き回ることができるようになりました。

それから 2 年以上が経って馬場さんから連絡をいただき、チュピーさんが学校に通えるようになったというお話を聞きました。車いすをもらう前は学校に行けなかったのですが、今は年下の子たちと一緒に小学 4 年生の授業に参加しているそうです。

「車いすをもらって人生が変わった、他の子供たちのように学校に通いたいと思っていたがそれが実現した。頑張っ勉強をし将来先生になる夢がある。」と話していました。

車いすの 輸送費が変わりました

車いすの輸送費

当会では国内で使われなくなった車いすを整備し、海外へ旅行される方々の手荷物として途上国の障がいを持つ方たちへ送り届けており、会員の皆様をはじめ海外へ旅行されるたびに声をかけてくださる旅行者の方々にはいつも大変お世話になっております。

この度、国内における流通の変化に伴って、当会の車いすの輸送費についても改定を行ったので、輸送費について説明するとともに、海外へ車いすをお届けする流れについてご紹介します。

空 港	当会事務所からの輸送費港
新 千 歳	1台 2,000 ～ 3,200円
成田・羽田 名古屋・関西	1台 3,500 ～ 5,000円
その他の空港	運送会社の一般のサービスを利用するため空港により異なります。1台 5,000 ～ 9,000円が目安。

1 渡航前の準備

まずは、車いすを持って行ってみようかな…と思ったら、当会へご連絡ください！

車いすの準備に時間を要するため、渡航 2 か月前を目安にご連絡いただくと助かります。

その後、行先国の障がい者施設などに連絡を取り、車いすを必要としている方の採寸をしてもらった後、旅行者の方の荷物の許容範囲と照らし合わせて車いすを選びます。車いすを選んだら、車いすを整備・チェックして、梱包材で梱包します。

2 車いすの受け渡し

旅行者の方に車いすを受け渡す方法は2つあります。

1つ目は、旅行者の方に当会事務所まで自家用車で車いすを取りに来ていただく方法です。公共交通機関は車いすをバッグに入れる必要があり、公共交通機関で運ぶことはできませんのでご注意ください。

2つ目は、空港まで車いすを送り、空港で受け取る方法です。ただし、これには上記の輸送費がかかるのでご注意ください。

車いすの 受け渡し①



旅行者の方が
「飛んでけ」
へ連絡

飛行機の手荷物制限をもとに、
台数や車いすのサイズ相談させていただきます。
車いすのサイズは3辺計180cm、
重さ15kgが目安です。



行先国の車いす利用者の
情報を聞き、
車いすを選ぶ。

1人1人の
体サイズ合った
車いすを選びます。

車いすの整備
・チェック



車いすの受け渡し



- ①事務所受け渡し
- ②空港受け渡し



車いすを預け入れ
手荷物として預け、
出発



行先国で現地の障がい者施設の方
利用者の方にお届け

- ①障がい者施設でお渡し
- ②滞在ホテルでお渡し
- ③空港でお渡し



車いすの 受け渡し②



3 出発～現地空港

飛行機の手荷物として車いすを預け、出発です。

預け入れ手荷物に超過料金が発生する場合は旅行者の方にご負担をお願いしております。ご理解のほどよろしくお願いいたします。



4 車いすをお届け

行先国の障がい者施設や滞在するホテル、空港などで現地の障がい者施設のスタッフの方と待ち合わせして、車いすをお渡しします。



梱包された車いす



これまで、多くの方が車いすのお届けにご協力していただきました。今後は、よりスムーズに海外への車いすの持ち運びを行っていただけるよう、本会も最大限の努力に努めて参ります。より一層のご協力をお願いいたします。



整備班の 松澤文夫さんに金メダル！

企画・制作：札幌市、北海道文化放送（UHB）で第1・3日曜日、AM6:25～から放送されている番組「いい人、いい街 #まいにち金メダル」で、本会の整備班としてご活躍いただいている松澤文夫さんにその労を労って金メダルが贈呈される様子が流れました。

「札幌には「スゴイ」や「ありがとう」があふれている。札幌には金メダリストがあふれている。いい人いい街まいにち金メダル。今回のまいにち金メダリストは？」と、定番のナレーション。

贈り主は、発寒北商店街振興組合理事の後藤哲也さんです。後藤さんは「今回、金メダルを贈りたいのは「飛んでけ！車いす」の会の松澤さんです。ハツキタ商店街で車いすを活用させていただくということもあるんですけども、今後も再生された車いすを広げていくという活動をしていただきたいという思いを込めて、金メダルを贈りたいと思います」というコメントと共にメダルを進呈しました。



整備班の松澤文夫さんと授与された金メダル

今回は「お助け！車いす」プロジェクトによる車いすの寄贈を表彰していただいたとのことです。「発寒北商店街はニコピアという施設を2013年に開設しました。地域みんなが集まる場所なので、災害があった時に足の不自由な方でもスムーズに避難ができるようにということで、そういった機会にぜひ活用させていただきたいと思います。」と、後藤さんから活用についてのお話がありました。

金メダリストとなった松澤さんは「会の活動が認められたことと、広く皆様に伝わるかなと思い、大変喜んでおります。2019年の7月からこの会に参加し、体が許す限り整備に従事しようと考えております。将来は東南アジアなどの海外に行つて、車いすの整備の指導を是非したいと考えております。」と抱負を述べました。

ちなみに、松澤さんはパワーリフティングのシニアの記録保持者でもあります。今回は2個目の金メダル？ということでしょうか。

この「飛んでけ！車いす」の会の放送分（1月5日放送）は、YouTubeでもご覧いただけます。

YouTube

いい人、いい街
まいにち金メダル



「飛んでけ」サポーターのご案内

●会員になる

- ・あなたの会費で世界中の障がい児・者に車いすが届きます。
- ・年3回会報を送ります。
- ・メールマガジンでイベント案内などが入手できます。
- ・車いすを無料で借りることができます。

■正会員	一般	5,000円/年
	学生	1,000円/年
■賛助会員	一般	2,000円/年
	団体	5,000円/年

●車いすを提供する

「家に使っていない車いすがある」「職場や知り合いが車いすを処分する」等の情報があればご連絡ください。無料で引き取ります。



●車いすを届ける

途上国に旅行する方で、車いすを直接届ける体験をしてみたい方にご協力ください。

●物品で支援する

リングブル・書き損じはがき・未使用切手・商品券(QUOカード等)を集めています。

●寄付をする・会費を振り込む

【郵便振替口座】記号番号 02780-6-2973 【ゆうちょ銀行口座間振込】記号 19070 番号 5406461
【北洋銀行】札幌駅南口支店 普通 4117153 【ウェブ決済システム・Syncable】※詳細は事務局へ

掲 示 板

イベントなど

- ▶ 2025年度定期総会(今回は役員選挙の年です。)
日時:5月17日(土)または5月24日(土) 14:30~16:00
場所:市民活動プラザ星園2階・中会議室
総会後に美味しいお店(場所未定)で17:00~懇親会を開きます。

お知らせ

- ▶ 車いすの学校 受講生募集中
毎月第2・第4土曜日 13:30~
基本的な車いす整備技術を伝授します。およそ5回の受講で修了証を授与いたします。
- ▶ ボランティア募集中
車いす整備ボラ(シニアの方大歓迎)、コーディネーター(英語でメールのやりとりができる方)、会報編集ボラ、事務作業ボラ
- Web版会報
会の活動を広く知っていただくため会報『とべとべ』をホームページで公開しています。表紙画像をクリックするとPDF版がダウンロード可能です。

URL: <https://tondeke.org/tobetobeforweb>



問い合わせ

「飛んでけ!車いす」の会 事務局(担当:照井・小林)
(事務局は基本的に火曜日と第5を除く土曜日の午後のみ開設)
電話/FAX 011-215-8824
メール: tondeke@bz01.plala.or.jp

